

平成 29 年 11 月 21 日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（平成 29 年 10 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復基調を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は底堅く推移している。公共投資は高水準で推移する一方、住宅投資は高水準ながらも減少傾向を辿っている。設備投資は増加傾向を維持している。

生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状況が続いているが、雇用者所得は前年を下回っている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、9 ヶ月連続で前年を上回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（全店舗ベース；平成 29 年 9 月）は、秋物の衣料の好調等を主因に 10 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+1.1%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 29 年 9 月）は、2 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+0.7%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；平成 29 年 10 月）は、2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△3.0%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 29 年 10 月）は、6 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△2.4%）。

新設住宅着工戸数（平成 29 年 9 月）は、貸家の増加を主因に 5 カ月振りに前年を上回った（前年比+23.9%）。

—— 分譲が 4 カ月振りに前年を下回った（前年比△4.2%）ものの、持家（同+9.4%）は 6 カ月振り、貸家（同+51.6%）は 5 カ月振りに前年を上回った。

民間設備投資（短観ベース；平成 29 年度計画）は、前年を上回る計画（前年比+15.2%）となっている。

—— 非製造業が 1 割方の増加となった前年を若干下回る計画となっているものの、製造業で維持更新投資に加え自動車向けの電子部品やロボット関連需要に応じた能力増強投資がみられたため、全産業で前年を 15% 方上回る計画。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 29 年 9 月）は、6 カ月振りに前年を上回った（前年比+0.3%）。

3. 生産動向

生産は、緩やかに持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 29 年 8 月）は、2 カ月連続で前月を下回った（前月比△2.0%）。

—— 8 月の動向を主要業種別にみると、生産用機械、電子部品・デバイス、パルプ・紙・紙加工品が上昇し、輸送機械、食料品、化学が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/10～12 月以降、3 四半期連続で前期比増となっている（28/10～12 月：前期比+1.2%、29/1～3 月：同+2.4%、4～6 月：同+2.7%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状況が続いているが、雇業者所得は前年を下回っている。

有効求人倍率（季節調整値；平成 29 年 9 月）は、1.40 倍と高水準を維持（平成 25 年 5 月以降 53 カ月連続で 1.00 倍以上を記録）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 29 年 9 月）は、前年を上回った（前年比+1.8%；平成 24 年 3 月以降 67 カ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 29 年 8 月）は、常用雇用指数（前年比△0.8%）、名目賃金指数（同△2.8%）がともに前年を下回ったことから、9 ヶ月連続で前年を下回った（同△3.5%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；平成 29 年 9 月）は、光熱・水道等の上昇等を主因に 9 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+1.3%）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 29 年 10 月）は、6 件、4.4 億円（前年同月；5 件、11.0 億円）と落ち着いた動き。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 29 年 9 月）は、預金、貸出ともに前年を上回った。また、貸出約定平均金利は、横這い圏内の動きとなっている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>